平和の子子どもの家

～みんなで楽しんだ夏の交流会～

６月 28 日（日）子どもの家に在籍する児童とご家族を対象とした交流会を開催しました。例年恒例だった琵琶湖キャンプが猛暑のため中止となったことを受け、「子どもたちに、代わりとなる楽しい夏の思い出を作ってあげたい」という思いから、夏を存分に堪能できるプログラムを企画しました。

当日の内容は「**流しそうめん**」と「**スイカ割り**」の二本立てです。

流しそうめんは、本物の竹を使用。実際にノコギリで竹をカットし、手作りの「マイ器」を作成。普段なかなかできない体験に、子どもたちは大喜び。自分たちで作った器でそうめんを味わった後は、「自分も流してみたい！」と、多くの子どもたちが交代で麺を流す側も体験し、大いに盛り上がりました。

お腹いっぱいそうめんを食べた後は、全員でスイカ割りに挑戦！保護者の方々も参戦し、会場は熱気と笑いに包まれました。割った後のスイカは、涼しい部屋に移動して、みんなで美味しくいただきました。

★当日使用した竹の器は、“ **夏の思い出** ”として各自お持ち帰りいただきました。
参加者のみなさまからは、うれしい感想を多数いただいています。

参加者の声

☆「本物の竹を使った流しそうめんは最高でした！ 楽しかったし、またやりたいです」
☆「こういう体験をさせてあげたいと思っていたので、親としてもうれしかったです。
娘にとっても良い経験になりました」
☆「外部から子どもの家に入って本当に良かったと、改めて思いました」
☆「初めての流しそうめんに大興奮でした。一足早い夏の思い出ができて感謝しています」

おかげさまで、多くの方に喜んでいただける充実した一日となりました。
ご参加いただいたみなさま本当にありがとうございました。

子どもの家　保護者会会長

しんもり福祉会 法人研修

シュタイナー研修

今回シュタイナー保育の思想を保育の現場に活かす：感謝の気持ちと意志が道徳性を育む」研修を受け、最も幼少期は意志が形成する時期であり（メルヘン、模倣、自然の中で遊ぶ等）日常の中で取り入れていくことが、大人になった時に自分で判断する力をつけ、活動を促す意志の形成に繋がってくることがわ　かりました。また親や保育者によって本性的欲求を満たされると、子どもは自発的に感謝する意志をもつようになってくるので、今の幼少期からしっかり土台を作っていきたいと思います。

バンドーラという弦楽器についても話を聞き、親子で協力して楽器を最初から作ることで親が自分だけに向き合ってくれている！と感じ親子のぬくもりやあたたかみを感じ子どもの愛情欲求が満たされる事でよりよい時間になることもわかりました。

アナログが進むこの時代では便利な物であふれてきています。自然の中で遊ぶ楽しさや想像力をつける遊びなどシュタイナー保育の良さを今の子どもたちに伝えていき、将来たくましく生きていける子どもに育つように取り組んでいきたいと思います。

←バンドーラ弦楽器

ロケットグループ（４歳児）担任

大阪市立両国保育所

虫さん、みーつけた！

毎年所庭のみかんの木にアゲハ蝶が卵を産み、あおむしの飼育をしています。子どもたちが葉っぱを入れたりお世話を楽しみながら蝶に変身するまで成長を見守っています。中庭や花壇にはダンゴ虫がいっぱい！どこにダンゴ虫が隠れているのかもよく知っていて宝物を探すかのように葉っぱをめくり「おったー！」と目を輝かせながら見せてくれます。手押し車に花や砂、枯葉を入れてダンゴ虫のお家作りをお友だちと楽しむ姿も見られます。夏になるとセミの声が…木を真剣に見上げながらセミ探しに夢中！虫が大好きなので「カブトムシに変身！」と表現遊びにも取り入れると「どんな動きかな？」と意見を出しながら身体を動かし虫への興味は深まるばかりです。自然に虫たちが集まり子どもたちの嬉しそうな笑顔や発見した時の誇らしげな表情を見ているとこの環境を大切にしたいと改めて思う日々です。

☆とうもろこしの皮むきに挑戦☆

両国保育所では野菜の栽培やクッキング、三食栄養について学ぶなど年齢に応じた食育活動を行っています。今年度のうさぎぐみはとうもろこしの皮むきに挑戦しました。実際に持ってみると大きさや重さに驚きつつ、匂いを嗅いだりひげを触ったりして興味津々の子ども達(*^-^*)　何枚も皮があってなかなか粒が見えず、「かたいなぁ」と苦戦していましたが、ずらっと並んだ粒が少しずつ見えてくると急にスピード UP！ みんな皮とひげまみれになり、とっても楽しそうでした。

とうもろこしは午後のおやつに“焼きとうもろこし”にして美味しく頂きました♪
これからも身近な野菜に触れる機会をつくり、子ども達が様々な食材に興味を持ったり、色々な経験を通して食事の時間が楽しみになるようにしていけたら…と思います。

うさぎ組（２歳児）　担任

泥んこ遊び♪

暑い夏がやってきて、所庭にホースで散水すると「きゃー！」と喜んで集まってくる子どもたちと泥んこ遊びを楽しみました。

裸足で地面を恐る恐る歩いていた子どもたちもタライの水や樋を見つけると目を輝かせ、水を触ったり、スコップですくってバケツに入れたりと思い思いに遊び始めました。樋に流した水が下まで流れていく様子に気付き、繰り返し試す姿も見られました。流れてきた水でできた泥の感触を手や足で味わいながら、ジャンプをしたり、寝転がったりと全身を使って開放的に遊ぶ子どもたち。笑顔いっぱいの姿から、夏ならではの遊びを存分に楽しんでいるのが伝わってきました。これからも子どもたちの「やってみたい」と言う気持ちを大切にしながら様々な素材や自然に触れ、遊ぶ楽しさを感じられる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

うさぎ組（２歳児）　担任